

東日本大震災の復興支援への取組み状況の報告

報告日：平成 23 年 8 月 5 日（第 2 報）

支部・部会・実行委員会・登録グループ名

北海道本部

責任者名 / 報告者名

本部長：齊藤有司 / 事務局長：森隆広

取組みの状況（報告済み～7月末までの検討状況、予定等含む）2,000 字以内

1. 中間報告～7月末までの取組みについて

第1報では、今後の取組に当たって、下記のようにテーマの設定、主な活動内容、推進体制に関して北海道本部の考え方について報告した。

(1). テーマ：東日本大震災を教訓とした北海道の防災について

- ・本部内の各委員会・各研究会との連携・調整。
- ・情報収集及び調査研究の推進。

(2). 主な活動内容：防災・減災に向けた社会貢献を目指す

- ・講演会・セミナー（技術者向け・一般市民向け）の開催。
- ・道内自治体への提言サポート。
- ・市民向けの分かり易い情報の提供。

(3). 推進体制：防災委員会がエンジン役となって取りまとめる。

その後、北海道本部内では、主な活動として震災関連の研修会・講演会を開催している。

今回の第2報では、4月以降に開催した東日本大震災に関連する研修会、講演会の開催状況について表に取りまとめたので、以下に示す。

平成 23 年度北海道本部東日本大震災関連講演会等の開催状況

月	日	名 称	方 式	所 管	内 容 等
4月	28日	技術士の地域社会貢献の可能性について (第46回北海道本部定期総会)	講演会	本部事務局	・地域へ語り継ぐ防災情報 ・住民自治の安全なまちづくり ・技術士の住民サポート機能
5月	18日	被災地に行かれた方からの状況報告 (平成23年度防災委員会総会)	講演会	防災委員会	「建設専門紙記者から見た被災の現場」 「被災地の現場に立って」 「南西沖地震・奥尻復興計画の初期対応」
	27日	復興の今を知る！復興の今を考える	研修会	RS研究会	1)「会津東山温泉からの報告と提案」 2)東日本大震災の復興について
6月	2日	「東日本大震災における技術士会の動き」	講演会	技術交流会	・日本技術士会の東日本大震災への対応について
	23日	東日本大震災と都市計画 (日本都市計画学会北海道支部)	講演会	後援	・国交省都市・地域整備局における取組みについて
7月	19日	東日本大震災と漁港漁村の復旧復興	講演会	北方海域技術交流会	全日本漁港建設協会による漁港漁村の復旧・復興について
	22日	東日本大震災と防災	研修会	地方技術士会 (道央)	1)厚真町に襲来した津波と防災 2)東日本大震災における機械設備の被災状況
	26日	東日本大震災における地盤被害と 北海道のメガ津波について	研修会	防災委員会 (地盤部会)	1)北海道で想定される500年周期メガ津波について 2)東日本大震災における地盤被害状況について

2. 今後の本部としての取組みについて

(1). 講演会・セミナー（技術者向け・一般市民向け）の開催

引き続き、震災・防災に関する研修会、講演会を開催していく予定である。

今後に予定している研修会、講演会の開催状況を以下に示す。

平成 23 年度北海道本部東日本大震災関連講演会等の開催予定状況

月	日	名 称	方 式	所 管	内 容 等
10月	26日 (予定)	「東日本大震災に学ぶ(仮題)」 第31回地域産学官と技術士との合同セミナー (札幌)	講演会 (市民)	統括本部	・群馬大学片田教授による特別講演を予定 ・「歴史的偉人に学ぶ(浜口吾稜)(仮題)」、ほか ・内容等について検討・調整中
11月	2日 (予定)	オホーツク技術士会技術講演会 (網走)	講演会 (市民)	地方技術士会 (オホーツク)	1) 網走市の防災対策の現状と課題、ほか ・内容等について検討・調整中

(2). 取りまとめ方の検討

本部防災委員会がエンジン役となって本部内各委員会・研究会等との連携・調整を図りながら、情報収集及び調査研究を行っていく。

最終的には活動の成果として、震災を教訓とした北海道の防災・減災に関する提言書を取りまとめる予定である。提言書は道内の自治体、市民、技術者を対象とし、平成 24 年度末までのまとめを目標としている。

以上